

第1回 JCHO東京城東病院地域協議会 議事録

日 時：平成27年3月12日(木) 13:55～14:40

場 所：病院3階応接室

出席者：福内江東区保健所長、岡本江東区医師会長、鴫田亀戸九丁目町会長、
中馬院長、竹本副院長、佐藤事務長、本間総看護師長、松邑看護師、
青野事務長補佐（書記）

【内容】

院長挨拶の後、事務局より委員の紹介及び地域協議会の要綱の説明を行った。また、院長より当院の概要説明を行った。

当院の現状について、4/1から総合内科診療が始まること、同時にJCHO初の取り組みとなる「総合内科研修施設」が始まることを説明した。

総合内科について、本日、第1回目の開業医向けの説明会を開催し、今後適時説明会を行う予定であることをお知らせした。

【質疑応答】

Q. 総合内科スタッフはどのようなメンバーですか。

A. 指導医6名、後期研修医9名の15名の医師を増員し、病棟、外来、救急を受け持つ予定です。また、夜間・休日の体制についても総合内科医が対応できるよう体制を整える予定です。

Q. 病床130床ということですが、総合内科診療の開始に伴って病床は足りませんか。

A. 現在のところ、病床利用率が低迷しており、当面の間は入院対応できると考えております。

Q. 総合内科の医師が大幅に増員され、業務量が増えることで、看護スタッフの体制についても検討が必要だと思いますがいかがでしょうか。

A. 総合内科プロジェクトの始動と併せて看護スタッフの増員を積極的に行っており体制は整いつつあります。

【その他ご意見等】

- ・患者を病院に紹介する際に、開業医は患者に不信感を与えないように心掛けているが、医療トラブルというよりは、ちょっとした接遇の問題で患者が紹介を断ることがあるので、気を付けてほしい。

- ・紹介した患者は、症状が安定したら開業医に戻してほしい。
 - ・研修医が増員することもあり、特に若い医師には言葉（使い）には十分注意してほしい。
 - ・東京都が推進している、2次医療圏での、特に脳卒中や心疾患患者の病病連携、病診連携を進めてほしい。
 - ・地域の患者がいつでもかかれる病院になって欲しい。
 - ・（認知症専門の医師の招へい（昨年9月）したことに対して）認知症といえば、「東京城東病院」となって欲しい。
 - ・（第1回認知症カフェを実施したことを受け）保健所（行政）や、地域包括支援センターにも開催情報等が欲しい。地域包括支援センターでは、認知症に関する相談も多いことから積極的に行ってほしい。
- 参加いただいた各委員から、今後の東京城東病院に大いに期待しているとの言葉をいただいた。
- 最後に、第1回地域協議会の議事録、撮影させていただいた写真等については、病院ホームページ及び広報誌「じょうとう」に掲載させていただく旨、了承いただきました。

以上